

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 145 (最終号)

2020/03/31/Wed

明日から新年度

哲学者デカルト誕生	1596年
エッフェル塔が完成	1889年
学校教育6・3・3・4制発足	1947年
よど号ハイジャック事件発生	1970年

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信

高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！

真岡東中学校HPでもご覧いただくことができます

2019年度(令和元年度)修了

本日3/31をもって…定年退職いたします

今まで本当にありがとうございました！

—最後の感謝の言葉を「校長室だより」に託して…㊦—

V 特色ある学校づくり

本校の最も顕著な特色の一つは国際交流教育活動です。姉妹都市である米国カリフォルニア州グレンドーラ市のガダード中学校との交流活動は令和元年度で29年目、今年度で30周年を迎えます。

3年間の在職中、2回のガダード中訪問、1回のガダード中生徒の訪問受け入れを経験できたことは、私にとって大きな人生の糧となると共に、国際的視野を学ぶ機会となりました。生徒たちにとっても、国際交流を身近に感じることができるこの活動は、たいへん有意義なものでありました。



本校は、校内の三大行事に向けて生徒も教職員も熱く燃えるのが大きな特色でもあります。

勝っても負けても懸命に応援し、相手を称える運動会。学年・学級の枠を越えて練習試合をしてレベルを高める合唱。そして感動のクロージング・セレモニーでは涙を流しながら仲間との絆の強



令和元年度は、栃木県教育委員会から「道徳教育応援チーム派遣事業」の指定を受けました。



める。本当に「全力に悔いなし」の生徒の心意気を感じる教育活動が展開できたと思います。



白鷗大学の中山和彦先生による師範授業と講話をはじめ、県教委・市教委のご指導の下、全ての学級担任が研究授業をして、授業力向上に努めてまいりました。



令和元年11月22日の道徳教育研修会の公開授業では、来校された先生方に研究の成果を



十分ご覧いただけたと自負しております。講師の永田繁雄東京学芸大学教職員大学院教授も、講演の中で公開授業の内容に触れ高い評価をしていただきました。全教職員が一丸となって道徳の授業研究に取り組み、生徒と共に授業を創り上げていく「チーム東」でした。多忙な中での研究指定は、正直なところ不安もあったのですが、研究を進めるうちに教職員がワンチームになってまとまり、生徒が積極的に発表するなどの変容も見られ、やりがいを感じる研究実践となりました。



体力が向上してきたことも特色の一つです。部活動では、ほとんどの部が県大会出場を果たしていることにも表れてきました。吹奏楽部や陸上部の全国レベルの活躍に刺激され各部に活気が出て「本校始まって以来の成績」という部が多く出るなどの健闘を見せました。県教委からの「新体力テスト優秀校」受賞にも繋がり、大きな励みとなりました。

Ⅵ 結びにあたって

本校を取り巻く環境を考え、地域や保護者への啓発、情報発信は不可欠と考え「校長室だより」と題して学校経営方針の周知をはじめ、各種大会・コンクールや行事での生徒の活躍、さらには保護者への協力の依頼や家庭教育の重要性などを伝えてきました。これが新聞に掲載され、地域の方々や保護者から激励の電話や手紙をいただいたことは大きな喜びでもあり、まさに「教師冥利に尽きる」思いでもありました。



3年間を振り返ると、本校での学校経営は反省することが多く、課題も残っています。やっと軌道に乗ってきたというときに定年退職となり本当に残念です。

しかし、明るく素直で心意気あふれる生徒、熱心で責任感があり「生涯の師」たりうる教職員、そして協力を惜しまない保護者や地域の皆様、その中で楽しく充実感を味わいながら勤務できたことは、この上ない幸せで、感謝の気持ちでいっぱいです。



また、真岡市当局や真岡市教育委員会の皆様には、温かいご支援と的確なご指導とご助言をいただき、何とか務めることができました。心からのお礼と感謝を申し上げます。

最後になりましたが、真岡東中学校のますますのご発展を心より御祈念申し上げまして、定年退職の言葉とし、ペンを置きます。本当にありがとうございました。

2020年3月31日

真岡市立真岡東中学校長 平野 秀雄